

# 令和8年度 学校経営方針の基底

## 1 学校教育の目的・目標 〈教育基本法〉⇒ [人間教育の充実](#)

### 〈教育基本法 第1条 教育の目的〉

教育は、人格の完成を目指し、平和で民主的な国家及び社会の形成者として必要な資質を備えた心身ともに健康な国民の育成を期して行われなければならない。

### 〈教育基本法 第2条 教育の目標〉

教育は、その目的を実現するため、学問の自由を尊重しつつ、次に掲げる目標を達成するよう行われるものとする。

行動  
評定

- ①幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養い、豊かな情操と道徳心を培うとともに、健やかな身体を養うこと。
- ②個人の価値を尊重して、その能力を伸ばし、創造性を培い、自主及び自律の精神を養うとともに、職業及び生活との関連を重視し、勤労を重んずる態度を養うこと。
- ③正義と責任、男女の平等、自他の敬愛と協力を重んずるとともに、公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養うこと。
- ④生命を尊び、自然を大切にし、環境の保全に寄与する態度を養うこと。
- ⑤伝統と文化を尊重し、それらをはぐくんできた我が国と郷土を愛するとともに、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うこと。

## 2 学校教育法における中学校の目的 〈学校教育法〉⇒ [社会的な自立を目指す](#)

### 〈学校教育法 第3章 中学校〉

第35条 中学校は、小学校における教育の基礎の上に、心身の発達に応じて、中等普通教育を施すことを目的とする。

第36条 中学校における教育については、前条の目的を実現するために、左の各号に掲げる目標の達成に努めなければならない。

社会的な  
自立

- ①小学校における教育の目標をなお十分に達成して、国家及び社会の形成者として必要な資質を養うこと。
- ②社会に必要な職業についての基礎的な知識と技能、勤労を重んずる態度及び個性に応じて将来の進路を選択する能力を養うこと。
- ③学校内外における社会的活動を促進し、その感情を正しく導き、公正な判断力を養うこと。

## 3 北海道教育の基本理念 〈北海道教育推進計画 2023(令和5)～2027(令和9)年度〉

### 第3章 〈北海道が目指す教育の基本理念〉 「自立」と「共生」

**自立** 自然豊かな北の大地で、世界を見つめ、自立の精神にあふれ、自らの夢に挑戦し、実現していく人を育む

**共生** ふるさとへの誇りと愛着を持ち、これからの社会に貢献し、共に支え合う人を育む

〈 基本理念 実現のためのキーワード 〉

【R8年度 重点教育目標策定に向けて】

【自立】 「自立の精神」と「夢に挑戦」

【共生】 「ふるさとへの誇り」「社会貢献」「協働」

- ◆夢に向かって、自ら挑戦
- ◆ふるさとを愛し、  
共に支え合い、共に高め合う

#### 4 上川管内教育推進の重点 〈北海道教育庁上川教育局 令和8年度(案)〉

##### ◆上川学びフォーカス◆

～ 子どもたちが、ふるさとへの誇りと愛着をもち、  
**夢や目標の実現に挑戦するために** ～

##### I 学びを引き出す ～ 主体性の育成 ～

##### ◆PDCA〈エビデンスに基づく〉授業改善◆

- ・新しい時代に必要となる資質・能力の育成
- ・特別支援教育の推進
- ・ふるさと教育の充実
- ・STEAM教育の推進
- ・キャリア教育の充実
- ・体力・運動能力の向上
- ・幼児教育の充実
- ・道徳教育の充実
- ・SDGs・ESDの推進
- ・健康教育・食育の充実
- ・グローバル人材の育成

##### II 学びを守る ～ 安心する環境づくり ～

##### ◆児童生徒理解・学びの保障◆

- ・いじめ防止の取り組みの充実
- ・不登校児童生徒への支援の充実
- ・学びセーフティーネットの構築

##### ◆ICTの活用促進

- ・デジタル学習基盤を活用した個別最適・協働的な学びの充実
- ・情報活用能力（情報モラルを含む）の育成
- ・オンライン授業等による学習支援や教育相談等の実施

##### III 学びを広げる ～ 地域等との連携 ～

##### ◆地域教材・人材等の効果的な活用◆

- ・地域と学校の連携・協働の推進
- ・安全・安心な教育環境の構築
- ・生涯学習・社会教育の振興

##### ◆学校経営の充実

- ・働き方改革の促進
- ・学校経営の担い手育成

##### ◆教職員の資質能力の向上

- ・教職員研修の充実

**子どもたち・教職員・地域・社会の「ウェルビーイング」の実現**  
～多様性の包摂を基盤とした教育活動全体を通して～

#### 5 旭川市学校教育推進の基本理念 〈「旭川市確かな学力育成プラン」 令和6年3月〉

【基本理念】 「ふるさと旭川から未来へはばたく子どもの育成」

##### 【目標】

- 1 子どもたちに未来を生き抜く力を育む
- 2 子どもたちの学びの環境を整える
- 3 子どもたちをともに育て豊かな学びをつくる

##### 【目指す子ども像】

- ・自ら考え、仲間とともに学ぶ子ども
- ・自分と仲間を愛し、心豊かな子ども
- ・心身ともにしなやかでたくましい子ども

##### 【基本施策】

- 1 確かな学力を育成する教育の推進
- 2 豊かな心と健やかな体を育成する教育の推進
- 3 子どもたちの多様な個性を伸ばす教育の推進



1 本校の校訓 及び 教育目標

◆ 校 訓 〈 聡 明 〉

「聡」は聞かざるなく、「明」は見ざるなし。すべてをよく聞き、よく見る。そして、外なる世界のみならず、自分自身の声に素直に耳を傾け、自分自身の姿を冷静に見つめる。そこに、正しい理解力・判断力・実践力が身につけ、自主自立の精神が深められる。

◆ 教育目標

時代を生き抜く健全な生徒の育成

- 探求の人
- 愛情の人
- 協調の人

(平成9年4月改定)

2 めざす学校像

◆学年・学級経営の充実・心理的安全性の確保◆

◆「夢」や「目標」の実現を目指して、「自ら学び」、「挑戦」し、「共に高め合う」ことのできる学校

- ◎ 生徒一人一人が「夢」や「目標」を語れる学校 〈 教育課程・学校行事 〉
- ◎ 生徒一人一人が「自ら学ぶ」ことのできる学校 〈 学年経営・授業改善 〉
- ◎ 生徒一人一人が「失敗を恐れず挑戦」できる学校 〈 学級経営・学校行事 〉
- ◎ 「協働的な活動」を通して、共に高め合える学校 〈 学校行事・部活動等 〉

◆すべての教育活動を通して、全校生徒を守り、育てる学校◆

3 めざす生徒像

- ◎ 「夢」や「目標」の実現を目指して、自ら学び挑戦できる生徒 〈 探求の人 〉
- ◎ 「互いのよさ」を認め合い、共に切磋琢磨できる心豊かな生徒 〈 愛情の人 〉
- ◎ 「協働的に学び」よりよい校風と伝統を築くことのできる生徒 〈 協調の人 〉

4 めざす教師像 〈 北海道における教員育成指標 令和5年3月改訂 〉

- ◎ 生徒への深い愛情と豊かな人間性をもつ教師 〈教育的な愛情〉
- ◎ 教育への使命感と責任感をもち、信頼される教師 〈信頼関係の構築〉
- ◎ 教育のプロとして学び続け、向上する教師 〈使命感・責任感・倫理観〉
- ◎ 同僚と共に学び支え合い、チーム力を高める教師 〈総合的な人間力〉
- ◎ 働き方改革を意識した業務の推進を図る教師 〈学校づくりを担う教師〉

5 経営の基本方針

昭和22年、北海道上川郡永山村立永山中学校として開校して以来、地域の要としての重責を担いながら、社会に貢献すべく多くの先達を輩出してきた歴史がある。予測不能な現代にあって、子どもたち・教職員・地域社会の「ウェルビーイング」の実現に向け、多様性の包摂を基盤とした教育活動を通し、「地域の宝・永中生」の育成を目指す。また、地域との連携を一層深め、確かな教育実践に努める。

## 5 本年度の重点教育目標

◆さらなる「人間教育」と「授業改革」の充実へ◆

### 「夢」や「目標」の実現を目指して 自ら学び、挑戦し、共に高め合う生徒の育成

#### 【期待される子どもの姿（学年別具体目標）】

1年	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分のよさや課題に気付き、思考を繰り返し、よりよい解決方法を考えることができる。</li> <li>自分のよさや他者とのちがいに気付き、認め合い、共に学ぶことができる。</li> <li>自分とちがう考えを受け入れ、学級や学年など、集団をよりよくすることができる。</li> </ul>	【探求】 【愛情】 【協調】
2年	<ul style="list-style-type: none"> <li>自他のよさや課題について深く考え、課題解決に向けて主体的に努力することができる。</li> <li>自他のよさについて深く考え、いじめや差別のない集団づくりを意識することができる。</li> <li>自他の可能性やよさを認め合い、課題解決に向けて協働的に活動することができる。</li> </ul>	【探求】 【愛情】 【協調】
3年	<ul style="list-style-type: none"> <li>多様な見方や考え方を尊重し、自ら学び、主体的に課題解決を図ることができる。</li> <li>多様な人々との協働活動を通して、互いに切磋琢磨し、共に高め合うことができる。</li> <li>多様な人々と課題解決に向けて協働し、よりよい社会や人生を築くことができる。</li> </ul>	【探求】 【愛情】 【協調】

## 6 本校のミッション（第4期教育振興基本計画 令和5年6月16日閣議決定）

### 【1】◆学年・学級経営◆

◆失敗をおそれず挑戦できる学年・学級経営◆

#### ◆時代を生き抜く健全な生徒の育成（本校 教育目標の実現）

- 一人一人の子どものウェルビーイング（身体的・精神的・社会的に良い状態であること）の向上に向けた「学年・学級経営」の充実。【心理的安全性の確保】

### 【2】◆授業改善◆

◆生徒指導の機能を生かした授業改善◆

#### ◆人間教育を基盤とした「授業改善」〈挑戦できる学習環境・心理的安全性の確保〉

- 主体的・対話的で深い学びの実現に向けた「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実を目指した「授業改善」の推進。【教務部・校内研修・学力向上】

### 【3】◆ICTの活用◆

◆H・A・I・H … 情報モラル教育の充実◆

#### ◆学習保障・安全保障・人権保障〈誰一人取り残さない教育・持続可能な教育活動〉

- 一斉授業や個別学習、協働学習など、様々な学習場面において、従来の対面指導に加え、オンライン授業の実施など、デジタル機器の活用によるリアルとデジタルを融合させた授業づくり。【通常学級・特別支援教育・不登校生徒への学習保障】

### 【4】◆CS・小中・地域連携◆

◆9年間で目指す子ども像「15歳の姿」◆

#### ◆地域総がかりで子どもを育む体制づくり〈情報共有の重要性〉

- 「新しい時代に必要となる資質・能力」の育成に向け、本校生徒・保護者・地域・校区小学校等の実態を把握することで「学校課題の明確化・共有化」を図る。【CS・小中連携・運営委員会・いじめ対策組織・学校評価等の分析と共有】

### 【5】◆関係機関との連携◆

◆子どもの実態把握・関係機関との連携・協働体制の構築◆

#### ◆関係機関との連携〈多様化・複雑化する教育課題に対する適切な教育環境の整備〉

- 特別な支援や配慮が必要な子ども（障がい、医療的ケア、病気療養、虐待、ヤングケアラー、貧困、不登校、性的マイノリティ等）に対する適切な教育環境の整備。【教育委員会・生活保護課・警察・医療機関・小中連携・校区小学校等との連携】

## 7 本校を取り巻く環境

### I 地域の状況

永山地区は、1891年（明治24年）に永山武四郎の指揮下、屯田兵が入植して拓かれた上川地方開拓の礎の地である。1961年（昭和36年）旧永山町が旭川市に合併。1999年（平成11年）上川支庁（現・上川総合振興局）が移転し、国道39号線沿いを中心に商業施設が集中。交通の要衝として都市機能が充実し、かつての農村風景から旭川の主要な住宅・商業・行政拠点へと変貌を遂げたエリアである。

### II 保護者の状況

地域・保護者の教育に対する関心は高く、学校教育に対する期待も大きい。また、学校評価（保護者アンケート）から学校に対する信頼が高く、学校行事や部活動等に協力的な保護者も多い。反面、近年の社会の変化に伴う家庭環境の多様化・複雑化も見られ、経済格差や学力の二極化、不登校傾向の生徒増加につながっている。学校に対する要望等も増加傾向にあることから、校下小学校との一層の連携（情報共有）、保護者・地域とのつながりを丁寧かつ強固にしていく必要がある。

### III 生徒の状況

全体的に素直な生徒が多く、規律ある学校生活を送っている。学習や係活動にも真面目に取り組み、与えられた課題や役割をしっかりと果たしている。また、生徒会活動を中心とした自治的活動も根付いており、今後さらなる生徒主体の取組が期待できる。ただし、受動的な生徒が多く「自ら学び、挑戦すること」には課題が見られる。今後、永山中学校区9年間を通して、社会的な自立を目指した教育活動の推進が重要である。

## 8 本校の学校課題・・【肯定的な回答の割合】（目標・結果）

- ①「課題の解決に向けて、自分で考え、取り組んでいる」・・【目標：90%以上】  
全国学調【R7：75.0%】→生徒アンケート【7月：89.8%】→【12月：88.8%】

▼「課題解決に向けて自ら進んで取り組む」⇒目標▼（-1.2P）  
・目標達成には至らなかったが、R6年度から大きく上昇するなど（+5.6P）、  
生徒が主体的に取り組む授業づくりを推進してきた成果が表れている。

- ②「自分には、よいところがあると思う」・・【目標：90%以上】  
全国学調【R7：85.1%】→生徒アンケート【7月：82.8%】→【12月：87.1%】

▼「自分には、よいところがあると思う」⇒目標▼（-2.9P）  
・年々上昇傾向にはあるが、自己肯定感、自己有用感の向上を図るための組織的で計画的なカリキュラム・マネジメントの工夫が重要である。

- ③「学校に行くのは楽しい」・・【目標：85%以上】  
全国学調【R7：72.6%】→生徒アンケート【7月：81.7%】→【12月：84.3%】

△「学校に行くのは楽しい」⇒目標達成△（-0.7P）  
・生徒会役員を中心とした自治的活動、各教科の学習、学校行事への生徒の主体的な取組、各学年の「職業講話」等を通じたキャリア教育の充実により、学校で学ぶ意義が創出されてきたことが肯定的な回答の上昇につながっている。

- ④「自分から挨拶している」・・【目標：90%以上】  
全国学調【R7：85.1%】→生徒アンケート【7月：93.0%】→【12月：94.4%】◎

◎「自分から挨拶している」⇒目標達成◎（+4.4P）  
・全ての教育活動を通じた一貫した取組（学年・学級経営、生徒会活動、部活動指導等）により、生徒の意識向上を図ることができた。今後、「集団でできる」ことから「個人でできる」ことへと昇華させていくことが重要である。

◆令和8年度は「夢や目標の実現を目指して挑戦すること」をキーワードに、全ての教育活動を通じて「新たな時代に必要となる資質・能力の育成」を達成するため、更なるカリキュラム・マネジメントの充実・発展を組織的・計画的に推進していく。

## 9 学校課題の解決に向けた2つの視点・・【人間教育】と【授業改革】

◇ 令和の日本型学校教育の実現を目指した **人間教育・道徳教育の充実**

人間教育

- ◆ 学習指導と生徒指導の一体化を目指した授業づくり（生徒指導の4つの視点）  
〈～教科指導と生徒指導を両輪とした教育活動の充実～〉
- ◆ 指導の重点を明確にした道徳の全体計画・指導計画作成及び授業実践  
〈～「行ってきます」から「ただいま」まで、すべてに通じる道徳教育～〉
- ◆ 一人一人の成長に寄り添う組織的・計画的な生徒指導の実践  
〈いじめの未然防止、特別な支援が必要な生徒に対する個別対応 など〉

◆生徒指導の4つの視点（3つの機能）

- ・自己存在感の感受（自己存在感を与える）
- ・共感的な人間関係の育成（人間関係を育成する）
- ・自己決定の場の提供（自己決定の場を与える）
- ・安全・安心な風土の醸成

◆「自己指導能力」の育成を  
目指した授業づくり

◆「学びを価値付ける」教師の  
かかわり（指導性）

○ 令和の日本型学校教育の実現を目指した **授業改革・教育課程の充実・改善**

授業改革

- 「目標に向かって自ら学び、共に高め合う力」を育む教育課程の工夫・改善  
〈探究的な活動、体験的な活動、主体的・対話的で深い学びの授業改善 など〉
- 今日的な課題や実践上の諸課題を踏まえた指導方法の開発と指導技術の向上  
〈令和の日本型学校教育の実現、ICTの利活用、地学協働の充実 など〉
- 「協働する力」「高め合う力」を育む地域の教育力の最大化及び小中連携の推進  
〈永山中学校区9年間を通して「目指すべき児童生徒像」の共有 など〉

◆「社会的な自立」を目指した体験的な学習の充実

- ・教科等横断的な視点での学びの工夫・充実
- ・系統的で総合的なキャリア教育の工夫・充実
- ・ICTの利活用による深い学びの実現
- ・共に学びを深める協働的な学習の充実

◆「自己指導能力」の育成を  
目指した授業づくり

◆「学びを価値付ける」教師の  
かかわり（指導性）

## 10 学校経営の重点

- ・職員個々の強みを生かす
- ・得意分野の発揮
- ・支え合えるチームづくり など

### 1 創意工夫にあふれ、組織的で活力のある校務運営

重点教育目標の実現のため、職員個々の強みを最大限に発揮し、チームとして様々な変化に柔軟に対応し、よりよい方策を志向・協働できる校務運営体制を構築する。

#### 【取組】

- 運営委員会の機能化を推進し、職員会議の効果的・効率的な運営の促進
- 教育活動の成果や課題を的確に捉えて活かす学校評価の工夫
- ICTを適切に活用した個別最適・協働的な学びの充実
- 一人一人の学びを保障するオンライン学習の推進と学習評価
- 日常の業務のスリム化を図り、一層の働き方改革の促進

- ・PTA組織の改編
- ・定時退勤日の設定
- ・部活動休養日の設定
- ・部活動の複数体制 など

### 2 教育課題に対応し地域の教育資源を生かした教育課程

学習指導要領の趣旨を踏まえ、育成すべき資質・能力の明確化を図り、地域社会や学校の特色を生かした教育課程の編成・実施に努める。

#### 【取組】

- 学習指導要領の趣旨を踏まえた、効果的なカリキュラム・マネジメントの推進
- 教科部で指導方法や評価方法を共有し、着実な進行管理を図る教科経営
- 特別支援教育の推進（障がいのある子どもの学びの場の充実）
- 教科標準時数での的確な指導計画の作成

- ・地域人材・施設の活用（職業講話・科学館など）
- ・R8〈挑戦・落語〉など

- ・学年の合い言葉（テーマ）
- ・「学年」で子どもを育てる
- ・「学級経営」＝学校の基盤

### 3 生徒個々の自己理解を促進し、社会的資質や行動力の育成を図る学年・学級経営

教師と生徒の信頼関係のもとで、生徒同士の共感的な人間関係を育み、集団生活を通して、学びの質の向上と健全な成長を促す学年・学級経営の充実に努める。

#### 【取組】

- 基本的な生活習慣を身に付けさせるとともに、規範意識や人権意識、思いやりの心を育てる指導
- 言語環境の充実を図り、好ましい人間関係の育成と支持的風土の醸成

### 4 個々の教師力を磨き学校全体の授業力を高める研修の推進

教科の特性を踏まえた研究と今日的な教育課題に正対した実践重視型の研修を授業力向上のための両輪と捉え、還流や協議を基に全職員で取り組む校内研修を推進する。

#### 【取組】

- 教育職員としての資質・能力の向上を目指した各種研修会・研究会への参加促進
- 各教科・領域における課題の明確化及び取組の重点化

○「個別最適な学び」と「協働的な学び」を意識した授業実践

## 5 潤い・安心・信頼を生み出す環境整備と危機管理

豊かな情操をはぐくむ潤いのある環境を整備するとともに、生徒が安全・安心に学ぶことができる学校内外の安全確保や危機管理体制の確立に努める。

### 【取組】

- 校舎内外の清潔さと潤いを保つ環境整備と環境美化活動の推進
- 「学校安全計画」に基づく安全管理や安全教育の推進
- 「危機管理マニュアル」「情報セキュリティ規約」の改訂及び周知・徹底

## 6 豊かな学びをつくる教育環境の整備と適切な事務執行

生徒の学びの環境を一層豊かにするため、必要な教材・教具の整備や計画的な学校営繕を進めるとともに、準公費的性格のある私費会計の適切な管理、執行に努める。

### 【取組】

- 施設・設備点検の励行と計画的・重点的な学校営繕の推進
- 築30年を迎えた施設を安全に管理・運営するための点検・修繕の推進
- 1人1台端末の更新に関わる備品の整備等
- 保護者負担の軽減と私費会計の適切な取扱、および適切な執行と金銭管理

## 7 保護者、地域との協働・協働関係の強化と地域総がかりでの健全育成

学校経営方針や学校の諸活動についての説明責任を果たし、相互理解と連携のもと地域総がかりで生徒の健全育成を図る。

### 【取組】

- HP・マチコミメール・各種通信の活用、教育相談・面談等の設定による適時性のある情報提供と啓発の促進
- CSの機能化及び連携推進
- PTA、部活動後援会、地域行事参加等を通じた連携、協力
- 永山地区地域学校協働本部との連携

・PTA組織の改編  
・地域学校協働本部との連携強化（屯田まつり）  
・地域との協力体制 など

※ PTA活動については、令和8年度から会則改定及びスリム化を提案。  
4月PTA総会（対面）において決議する予定。

## 8 生徒、保護者、地域から信頼される教職員

法令遵守はもとより、永山中学校職員としての自覚と誇りをもった業務推進に努め、支え合う同僚性に裏打ちされた「風通しの良い職場づくり」を推進する。

### 【取組】

- 服務規律を遵守し、信頼される教師集団の確立（体罰・ハラスメント等）
- コンプライアンス委員会による、計画的・継続的かつ日常的な啓発活動の推進
- 報告・連絡・相談の徹底による機動的な協働体制の確立
- 潤いのある人間関係の醸成と自己管理能力の向上によるメンタルヘルスの増進

## 11 指導の重点

### 1 目指す資質・能力を明確にし、「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実を目指した学習指導

各教科・領域で育成すべき資質・能力を明確にし、「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実を目指した授業実践を軸に「確かな学力」の育成を図る。

### 【取組】

- 「All Nagayama」をベースにした学力向上に向けた実践
- ICTを適切に活用した個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実
- 学習指導要領が目指す資質・能力を育成するための指導と評価の一体化

### 2 共感的な生徒理解に努め、自己指導能力を育てる生徒指導

生徒一人一人の人格を尊重し、きめ細やかで共感的な生徒理解に努めるとともに、自己肯定感や自己有用感を高めるための「自己決定の場」を設定し、自ら立てた夢や目標の実現のため、自らを律し責任をもって行動する能力を育てる。

・学校行事を含めた全ての教育活動を通して挑戦！  
・「レッツ・トライ！」  
・「ナイス・トライ！」

### 【取組】

- 「夢」や「目標」の実現を目指して自ら学び挑戦できる生徒の育成
- 「永中生の誓い」の意識化と指導の推進
- 「望ましい人間関係づくり」…思いやりのある言動を身に付けさせる指導の充実
- 学校いじめ防止基本方針に基づいた組織的な対応といじめの的確な認知
- いじめ重大事態に係る再調査結果を踏まえた再防止対策の推進
- 魅力あるよりよい学校づくりを進め、新たな不登校生とを生まない体制づくり
- 不登校生徒の具体的ケアのさらなる充実、学習保障と的確な評価
- 旭川市いじめ対策推進部、SCや関係機関との積極的な連携

### 3 個々の特性と教育的ニーズを踏まえた発達を支える特別支援教育

障がいのある生徒の特性や教育的ニーズを踏まえ、個別の指導計画に基づく指導を進めるとともに、発達障害や集団不適応などに対する全校での支援体制を充実する。

また、通常学級に在籍する生徒個々の特性を把握し、指導に生かす取組を推進する。

- ・「社会的な自立」を目指す取組
- ・家庭・地域・関係機関との連携

#### 【取組】

- 教育的ニーズの共有化（打合せの定例化・個別の支援計画・指導計画の活用）を基盤としたインクルーシブ教育の推進（交流学級での居場所づくり）
- 通常学級に在籍する特別な支援を要する生徒の見取り及び具体的な支援（スズキ校務の活用：記載項目はすくらむの様式6を参考）
- 自己理解を進め、社会的な自立を目指した学習指導・生活指導の充実
- 保護者や関係機関との連携推進と校内支援委員会による支援体制の充実

### 4 自己有用感を高め、集団生活の向上に向けた実践力を育てる特別活動

生徒の主体性が発揮される集会活動や学校行事を創意工夫することで、自己肯定感や有用感、集団への所属感、連帯感を高め、一人一人が役割を果たすことの大切さや社会の形成者としての自覚をもたせる。

- ・一人一人の生徒の「居場所づくり」
- ・「よさ」を認め合う風土・活躍の場の創出

#### 【取組】

- よりよい校風を築き、集団への所属感や連帯感を高める学校行事の工夫
- 生徒自らが考案し、表現できる行事の工夫（思考を促し、高める指導）
- 一人一人の活躍の場の設定、リーダーを育てる係活動や生徒会活動の推進
- 集団の中でよさや可能性を発揮し自己肯定感や有用感を高める活動の工夫

### 5 道徳的な判断力・実践力を育てる道徳教育

本校生徒の実態把握、課題の明確化により、「特別の教科 道徳」における「考え、議論する」学習の展開・交流を工夫するとともに、各教科や体験活動等との関連付けを図り、全ての教育活動を通じた道徳的実践力の育成に努める。

#### 【取組】

- 自他を尊重する態度を育成する人権教育の推進【いじめ見逃しゼロを目指す】
- 本校生徒の道徳性に関する実態把握と課題の明確化
- 道徳教育推進教師を中心とした全校的な取組の推進
- 「特別の教科 道徳」における「考え、議論する」授業の交流

### 6 自己理解に根ざした社会的・職業的自立を促すキャリア教育

全学年を通じて生き方や進路に関する学習を推進し、学ぶことや働くことの意義を考えさせるとともに、将来の目標を確立し、主体的に進路を選択する能力を育てる。

#### 【取組】

- キャリアパスポートの活用による系統的・横断的なキャリア教育の推進
- 地域社会とのつながりを重視した体験的なキャリア教育の推進
- 教科等横断的な視点での総合的な学習の時間の充実・改善（STEAM教育）

○主体的な進路の選択や将来設計に係る指導の充実（学年・学級経営の充実）

## 7 運動に親しみ、健康で安全な生活習慣をつくる体育・健康安全指導

体力・運動能力調査の結果をもとに体力向上プランを策定し、様々な場面で運動に親しみ、たくましい体づくりに進んで取り組む態度を養うとともに、自他の生命の安全を守り、健康的な生活を営むための判断力や行動力を育てる。

### 【取組】

- 向上プランに基づく体力づくりや健康の保持増進を図る活動の工夫
- 保健主事や養護教諭を中心とした保健指導の充実と健康的な生活習慣づくり
- 健康や安全に関する喫緊の課題に対する指導の工夫・充実

## 8 目標に向かって真摯に取り組む挑戦し、心身の鍛錬を図る部活動

「部活動ガイドライン」「部活動に関わる確認事項」に基づき、全ての部が同一歩調で生徒の主体的な活動を促進し、共通の目標達成のために協力し高め合うことを通じて個性の伸長を図るとともに、好ましい人間関係の育成や社会性の涵養に努める。

部活動の地域展開は、旭川市（スポーツ課・教育指導課）の取組を踏まえながら、急がず慎重に推進し、近隣中学校との合同チーム等についても検討する。

### 【取組】

- 部活動ガイドラインを遵守した働き改革を推進
- 異学年集団での活動を通して望ましい人間関係を構築し、仲間意識や集団行動におけるマナー等を身に付け、心身の健康の保持増進を図る
- 挨拶や礼儀などの社会性を育み、日常生活につなげる指導の工夫・充実
- 保護者・地域・職員間で共通理解を図り、複数顧問制による指導の充実を図る

### ◆令和8年度 テーマ（全校生徒に向けた”合い言葉”）

### ◆「夢」や「目標」の実現を目指して、「挑戦」しよう！！

「夢」や「目標」を叶える(達成する)ために …

◆心理的安全性の確保◆

- ① **「1つ目のカギ」が「あいさつ！」**  
・心のこもった「あいさつ」ができる ・時間をまもることができる
- ② **「2つ目のカギ」が「挑戦！」** … 「レッツ・トライ」「ナイス・トライ」  
・「大きな挑戦」と「小さな挑戦」のどちらも大事

# 令和8年度 学校経営全体構造図



# 永中生の誓い

私たち永山中学校生徒は、より良い学校づくりのために、以下の内容を守ることを誓います。

一、私たちは、人権を尊重し、安心して過ごせる学校を目指します。

一、私たちは、善悪を適切に判断し、中学生として責任をもった行動を心掛けます。

一、私たちは、良好な人間関係を築き、注意し合える環境づくりに努めます。

令和七年三月十二日

旭川市立永山中学校生徒会

## 『永中生の誓い』の趣旨

全校生徒の学校生活の振り返りを受け、全校生徒が今後の生活で意識すべきことや行動すべきことをこの誓いにまとめました。以下に、それぞれの誓いの意図を説明します。

私たちは、人権を尊重し、安心して過ごせる学校を目指します。

私たちは一人で生きているわけではありません。自分の周りにはたくさんの方が関わっています。だからこそ、お互いに助け合い、幸せに生きていくためにも、人権を尊重する必要があります。お互いの個性を認め合うこと、いじめをしないこと、みんなにとって安心・安全な学校をつくるのが大切です。

私たちは、善悪を適切に判断し、中学生として責任をもった行動を心掛けます。

善悪を適切に判断するためにも、校則や社会のルールについて正しく理解する必要があります。自分の言動がどのように影響するか、後先をよく考え、何事も冷静になって考えることが大切です。

私たちは、良好な人間関係を築き、注意し合える環境づくりに努めます。

注意し合える環境づくりのためには、「注意する勇氣」と「注意されたことを素直に受け止める心」をもつ必要があります。そのような人間関係を友人同士だけでなく、学級や学年全体で築くことが大切です。

# 令和8年度 校務分掌機構図

